

# 1 令和4年度東京都自立支援協議会活動状況

## 第7期 東京都自立支援協議会委員名簿（令和4年度）

令和4年6月8日現在

番号	役職	名前	所属	番号	役職	名前	所属
1	副会長	秋元 妙美	CILちょうふ 代表	11		東條 左絵子	障害者施策推進部 地域生活支援課長
2		秋山 美里	練馬区石神井総合福祉事務所 障害者支援係長	12		中村 真一	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 本人部会ゆうあい会 役員
3		荒木 浩	社会福祉法人多摩棕櫚亭協会 障害者就業・生活支援センター オープナー 施設長	13		西田 伸一	公益社団法人東京都医師会 理事
4		稲垣 孝子	江東区保健所保健予防課 保健指導担当係長	14	副会長	長谷川 聖司	板橋区福祉部 障がい政策課長
5	会長	岩本 操	武蔵野大学人間科学部人間科学科 教授	15		藤井 亘	特定非営利活動法人クローバー 事務局長
6		押尾 佳子	江戸川区福祉部障害者福祉課 愛の手帳相談係長	16		増島 薫	府中市福祉保健部障害者福祉課 基幹相談支援担当係長
7		神作 彩子	大田区立障がい者総合サポート センター相談支援事業所管理者	17		村中 友江	社会福祉法人原町成年寮 生活介護事業所 アンジュ
8		久保 玄	社会福祉法人原町成年寮 サザンクロスかつしか 所長	18	副会長	森山 瑞江	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 副理事長
9		小阪 和誠	一般社団法人ソラティオ ピアサポート専門員	19		柳瀬 達夫	社会福祉法人鶴風会 西多摩療育支援 センター障害者支援施設 楽 施設長
10		佐々木 理恵	東京大学医学部附属病院精神神経科 ピアサポートワーカー	20		立仙 由紀子	三鷹市健康福祉部 障がい者支援課長

※五十音順

## 活動のまとめ

第7期テーマ（令和3・4年度）： 都と地域の協議会活動における情報共有を促進し、当事者とともに地域課題への取組を考える

協議事項に基づく検討 「当事者の声・願いを中心において、地域移行・地域生活支援の課題を考える」

第1回本会議 6月6日（月）13時30分から16時00分まで

<報告事項>

- 令和3年度東京都自立支援協議会活動のまとめ
- 「令和3年度版 東京都内の自立支援協議会の動向」調査結果について

<協議事項>

- 令和4年度活動方針(案)について
- 令和4年度東京都自立支援協議会活動計画(案)について
- グループ活動の振り分け(案)について

第2回本会議 2月27日（月）13時30分から16時00分まで

<報告事項>

- 令和4年度東京都自立支援協議会活動報告について
  - 交流会グループの活動報告
  - セミナーグループの活動報告
  - 動向集グループの活動報告
- 東京都からの報告

<協議事項>

- 第7期東京都自立支援協議会活動の振り返り
- 第8期東京都自立支援協議会に向けた意見交換について

### 地域協議会の情報把握・共有

地域自立支援協議会交流会

日時：8月22日（月）13時30分から16時まで  
会場：東京都社会福祉保健医療研修センター  
テーマ：地域での暮らしに欠かせない社会資源を考える  
～それぞれの立場から～

- 話題提起（3障害の当事者各1名、家族1名）
- グループ討議  
地域自立支援協議会の関係者でグループをつくり、意見交換（8グループ）

※話題提起及び討議結果の内容をまとめ、交流会終了後に区市町村へ情報提供

### 東京の協議会活動の普及啓発

東京都自立支援協議会セミナー

日時：12月12日（月）13時20分から16時10分まで  
会場：東京都庁第一本庁舎 5階大会議場  
テーマ：当事者が地域で安心して暮らすために  
～地域の社会資源を活用して～

- 第1部：基調講演  
厚生労働省専門官 金川洋輔 氏
- 第2部：パネルディスカッション  
パネリスト

【重度訪問介護を利用して単身生活している立場から】  
【自立生活援助を利用して単身生活している立場から】

### 地域協議会の情報共有・発信

令和4年度版東京都内の自立支援協議会の動向方針

- 第7期の総括を加える
- 令和4年度活動方針をふまえた交流会やセミナーとの連動性を持たせた設問を追加
- 一覧と個票の重複を避け、一覧に整理できることは個票には再掲しない
- 項目立てを整理し、一覧・個票とも見やすくする。
- 地域自立支援協議会の委員名簿の記載がない場合の理由を記載してもらう
- 地域自立支援協議会活動状況把握のため引き続き具体的な取組等の記載
- 経年変化を問う設問は変更しない

## 地域自立支援協議会交流会の開催報告

### 1 目的

- 都内の地域自立支援協議会関係者の交流の場を設定し、活動状況等に関する情報交換を実施することにより、各地域自立支援協議会の円滑な運営や活動の活性化を図る。
- 東京都自立支援協議会として、都内の地域自立支援協議会の活動状況等を把握する。

### 2 取り組みポイント

- 過去、3年間交流会では当事者を視点に地域課題を考えてきたが、今年度は、地域課題によりフォーカスを当てた。
- 地域移行・地域生活支援が課題であり、地域で暮らすことが当たり前になっていない現状を踏まえ、地域移行・地域生活支援を進めるためには、社会資源を作り出すことが重要であるとした。
- 当事者自身の声・願いを中心に置き、障害当事者やそのご家族を招いてシンポジウムをおこなった。
- グループ討議では、全8グループに地域移行部会のある地域自立支援協議会の委員を配置するなど、地域での取り組みが情報共有出来るよう努めた。

### 3 アンケート結果 42名

\* 区市町村からの参加者：47名（12区9市1町） ※申込者48名

#### (1) 話題提起

評価	非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考になかった	無回答	合計
人数 (%)	21 (50.0%)	20 (47.6%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	42 (100%)

#### (2) グループ討議

評価	非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考になかった	無回答	合計
人数 (%)	23 (54.8%)	18 (42.8%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	42 (100%)

#### (主な意見)

- ・テーマはとてもいいと思う。同じテーマで継続して開催してはどうでしょうか。同じテーマでも細かく分けて「相談」「住まい」などに特化した話題でもいいと思います。
- ・当事者の方の言葉はやはり強く思いが伝わります。
- ・区市立場がバラバラの設定だったのでいろいろな意見をきくことができた。とても良かった。
- ・対面でお会いでき、話せたことは良かった。グループワークは難しいとしても、話題提起（講義）は非常に有意義だと感じるのでオンライン配信してもらえると、参加者がより増えるのではないかと感じた。
- ・グループ討議で時間が足りないほど様々な情報交換ができたので、発表の時間はとらずに、書記データの共有でもいいかと思いました。
- ・本日のような合同交流会を通じて当事者の声を届けるシンポジウムですとか講演会を、自治体をまたいで合同開催できたらより大きな力になると思いました。お力になれることがありました何かやらせていただければうれしいです。

## 東京都自立支援協議会セミナーの開催報告

### 1 目的

障害者総合支援法等における相談支援体制等、東京における共通課題や取組、協議会活動の活性化策などについて、東京都自立支援協議会本会議での検討等を踏まえた講演及びパネルディスカッションを実施することにより、広く関係者へ情報発信を行い、自立支援協議会活動の普及啓発を図る。

### 2 取組ポイント

- (1) 令和4年度の活動方針は、「当事者ととも地域移行・地域生活支援における課題を考える」としており、昨年度からのテーマとしている地域移行・地域生活について、地域自立支援協議会交流会との連動を考慮しながら、セミナーでは更に情報や課題を共有し、地域自立支援協議会へ持ち帰ってもらい、活性化を進めることを目的とした。
- (2) 今年度は、安心して生活できる住まいの場やインフォーマルを含めた社会資源やサービスについての課題について参加者と一緒に考えることをねらいとした。
- (3) 講演は広域を対象としているので三障害に係る話題提起を、パネリストには、重度訪問介護および自立生活援助を利用し地域で暮らしている方に依頼した。

### 3 参加者

- (1) 会場参加  
135名（受講者101名、聴講者34名）
- (2) 動画視聴  
354名（申込者数）  
再生数は、開会あいさつ：256、第1部：326、第2部：268

### 4 アンケート結果

#### (1) 第1部 基調講演

	大変参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった	無回答
会場	49(53.3%)	39(42.4%)	4(4.3%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
動画	42(53.1%)	34(43.0%)	3(3.8%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)

#### (自由意見・会場)

- ・客観的な数値データを踏まえた説明で説得力があった。
- ・制度や数字の話だけでなく、ご自身の支援してきた事例を交えてくださったので、より分かりやすく拝聴できました。
- ・当事者を軸にして、常に意識して考える姿勢自体が参考になった。
- ・国の制度をどう地元を活かしていくのか、その方法や、それを行っていく必要性を改めて教わった。
- ・地域移行支援の難しさを改めて感じました。病院生活が長くなると夢や希望が伝えられなくなる現実が悲しいです。

#### (自由意見・動画視聴)

- ・豊富な資料とご経験を惜しみなく提供していただき、具体的に地域移行に成功している事例をたくさん知ることができました。成功例を共有することは多くの方の励みになり推進力の源になると感じました。
- ・金川さんのお人柄に心酔しました。こうした現場での豊富な経験を重ねられた方が、政策や制度の立案をする役所におられる事に、喜びと希望を感じました。

- ・厚生労働省専門官としての立場と一人の実践者としての立場をうまく使い分けながら、思いの込もった講演であったと思う。パワーポイントの資料が大変多い中、事務局の方の配慮にも頭の下がる思いがした。
- ・自立支援協議会の取り組み例がとても参考になりました。金川さんから、自分が協議会にいたころにはこんなことやっていただけ～という話があったのでそういうところをもっと具体的に聴きたいと思いました。
- ・自立支援協議会などの事が理解できた。もっと社会の中で認知度が上がると良い。

## (2) 第2部 パネルディスカッション

	大変参考に なった	参考になった	普通	あまり参考に ならなかった	全く参考に ならなかった	無回答
会場	52 (56.5%)	33 (35.9%)	4 (4.3%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	2 (2.2%)
動画	43 (54.4%)	30 (38.0%)	6 (7.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

### (自由意見・会場)

- ・やはりご本人からのお話が伺えたのは貴重でした。福祉サービスの内容をよりリアルにとらえることができました。
- ・2チームともいい事例で参考になりました。本人中心のお話でよかったです。
- ・区分5の利用者さんの一人暮らし、大変参考になりました。
- ・非常に大変な状況でも、自立生活に向けて支援し続ける支援力に感銘を受けた。
- ・支援のプロセスを具体的に知ることができ、地域に戻って実践してみたいと思う。
- ・当事者の中には、集団での生活より、個々の生活支援の方が適することが多いことを改めて感じた。
- ・実際のサービス導入の実態、また、サービスによる弊害（市をまたぐことでサービス支給に差が出る）について、課題を認識できた。職場に持ち帰って共有したい。
- ・支援者側の話が長かった。また、その内容があまり好事例だと思えなかった。

### (自由意見・動画視聴)

- ・実際に地域移行した事例をもとに、制度の課題点や支援者の工夫した点などを伝えていただいたことで、理解が深まりました。
- ・プラスの面ばかりでなく、マイナスの面も率直に語ってくださり、大きな気づきを頂きました。ありがとうございます。今後の支援に活かしていきたいと思います。
- ・制度の概要を説明されるよりも、実際に支援導入までの流れと、それによってどういう変化があるのかということを示して頂いたことで、制度概要の理解も促進されたように思いました。
- ・重度の知的障害がある方が、18年も地域でアパート暮らしをしているという事実は、私にとってのパラダイム転換であった。私の兄も重度知的障害が有るが、このような方向性を目指すことができないかと思って聞いていた。
- ・当事者の方の様子や話を聞く機会があったことは良かったです。話が出来なくても当事者の方の表情などから分かることも多くあると思いますので、今後も無理のない範囲で当事者の方が出てくる場面が増えると良いと思います。
- ・当事者参加の意味やあり方について、考えさせられました。十年一日のごときスタイルでしたので。当事者主体とか当事者主権について、もっと深いところでもとらえる必要があるのでは…。
- ・当事者の方が関係者の方と準備を経て、登壇してくださったことは意味があったと思いますが、その方の事例を普遍化していけるのか？という点で、自分の仕事上では「遠い話」に感じられていました。現在、サービス利用の支給決定をする行政に「就労継続支援B型」や「移動支援」の利用申請を伝えても「根拠が薄い」と差し戻されるようになりました。（コロナ禍もあり、予算的に厳しい現状もあるようで）以前はそんなことはなかったのですが・・・。

### (3) セミナーの開催手法等

#### <会場参加を選択した理由>

- ・登壇者や会場に来場される方たちの雰囲気・熱量を感じる必要性があったから
- ・コロナ以後“直接”が減っているが、「基本直接」だと考える。
- ・他自治体の協議会委員と知り合えと思ったから。
- ・動画では伝わりにくい（ADHDもあるので）こともあるので、実際の事を見たかったし、金川さんの話を聞きたかったのが、本人達の声を実際に聞けるようになって良かったです。ルビの資料ももらえてよかった。

#### <動画視聴を選択した理由>

- ・時間的に会場までに行かず、事業所で細切れでも動画を見られるため
- ・コロナの再流行が懸念されたため、動画視聴とさせていただきました。
- ・当日は都合がつかずに動画視聴を選択しました。何度も繰り返しポイントを聞くことが出来るので、これはこれで良いなと思いました。
- ・知的障害者が家族にいるため、時間と場所を選ばない動画視聴は大変ありがたいです。今後も継続していただきたいと思います。
- ・その日家を空けられず、後でゆっくり観たいと思ったので（年末年始はまたバタバタしてゆっくりとはいかなかったのが公開期間を延ばしてほしいくらいです）

#### <セミナーの運営等>

##### (自由意見・会場)

- ・スタッフの方々の対応がきめ細やかで良かった。
- ・都庁への入館がスムーズで良かったです。
- ・要約筆記は、今後もやってほしい。
- ・一部資料の字が小さく見づらかった。

##### (自由意見・動画視聴)

- ・大変勉強になりました。字幕も助かりました。とても丁寧な運営をありがとうございます。
- ・動画視聴の人数制限（400名）があるのはなぜでしょうか？このような研修はとても参考になるのでたくさん開催してほしい。オンラインも活用してたくさんの方が（人数制限せず）観られると良いと感じました。
- ・動画スピードを変更できると助かります。大体1.25倍速で聴いています。
- ・動画視聴期間をもう少し長くしていただけるとありがたいです。（せめて1ヶ月とか…年末年始を挟むと日数がなく時間の調整ができませんでした）
- ・開催の周知がもっといきわたるよう工夫してほしいです。

### (4) 第7期東京都自立支援協議会について

#### <障害当事者の声・願いを積極的に取り入れて活動を進めてきたこと>

	たいへん良い	良い	普通	あまり よくない	良くない	無回答
会場	61(66.3%)	24(26.1%)	6(6.5%)	0(0.0%)	0(0.0%)	1(1.1%)
動画	52(65.8%)	21(26.6%)	6(7.6%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)

#### <地域自立支援協議会活動の活性化に向けた働きかけを行ってきたこと>

	たいへん良い	良い	普通	あまり よくない	良くない	無回答
会場	54(58.7%)	29(31.5%)	8(8.7%)	0(0.0%)	0(0.0%)	1(1.1%)
動画	41(51.9%)	28(35.4%)	9(11.4%)	1(1.3%)	0(0.0%)	0(0.0%)

## <今後の活動に期待すること。>

### (自由意見・会場)

- ・協議会のあり方は、変化しつづけるもの、悩みのつきないものと思うので、都として整理と発信を続けていただきたい。
- ・当事者の生声が聞けるのは都の特徴だと思いますし、大切だと思うので続けて欲しいです。
- ・継続していくことで、スパイラルアップを図ってください。
- ・各区市町村の協議会が形骸化しないよう、更なる取り組みをお願いしたい。
- ・自立支援協議会の活動に差があるように感じています。活性化をよろしくお願いします。
- ・各自治体の自立支援協議会の共有部会での集まりがあるとよいと思う。
- ・「地域自立支援協議会交流会との連動も考慮」の内容を知りたいと思いました。区の自立支援協議会では、テーマの設定など手探りの状態です。都の自立支援協議会からの関与を強めてほしいと思います。(具体的にアドバイスをいただくなど)
- ・広域だからこそそのネットワークづくり、情報共有、資源開発など
- ・他県との情報共有
- ・当事者の声に向き合う姿勢は、今年だけでなくこれからも続くテーマだと感じました。
- ・さらに深く課題を掘り下げてください。
- ・介護保険との併用になる高齢障害者問題
- ・医療的ケア児の話、重心の人も含めた人の自立生活
- ・自立した生活のために使えるサービスについての学習会等があれば参加したいです。
- ・地域共生社会について考える機会を作してほしい。

### (自由意見・動画視聴)

- ・「支援者主体」ではなく「当事者と共に」といったことをどんどん定着させていかなければならないなと思っています。こういったセミナーがあるとより広がると思いました。参加できなくても動画で視聴できるという形であると視聴する数も増え、さらに広がっていけると思うので、今後も継続して発信してもらえると嬉しいです。
- ・当事者の願いは、住み慣れた地域で暮らし続けることのできることに尽きます。そのためには、障害当事者の声を社会に届けて、社会が変わるためのアクションが必要です。引き続き、粘り強く、様々な障害を有する方々の声を発信してほしいと思います。
- ・現在のテーマは大変良く、もう少し継続してもいいのではないかと思います。
- ・区によって様々な違いがあったり、福祉サービスにおいても、この区では認められているが、この区では認められていないサービスもあります。区ごとの好事例や取り組んでいるものの意見交換など活発に行っていただきたいと思います。
- ・地域の自立支援協議会は格差があると思いますが、国と市区町村をつないでほしいと思います。
- ・各市区町村の自立支援協議会への参加を望みます。情報量が格段に違うこと、話し合いの視点など、ぜひ、新しい風をふかしてください。
- ・個別の支援や特定の支援テーマでなく、基礎自治体での協議会の活動や運営を取り扱うことを期待しています。夏の交流会に参加しましたが、なかなか難しかったです。金川さんの資料にあったような、実際の取り組み例を具体的に共有できる機会があるとよいなと思いました。
- ・市区町村を超えたこのような会があることはとても有意義だと思います。今後も続けてほしい。(もっと現場レベルの方々とのやりとり(グループディスカッション)の時間があればよいと思う)
- ・協議会の活動を初めて知りましたので今後も広報をお願いします。
- ・今年度の都の協議会の取組や活動が市区町村の協議会に対してどのような影響を与えたのかの追跡調査と調査結果の公開も是非実施してもらいたい。またこういった取組はホームページには掲載されているものの一部の人しか知らないし協議会の委員でない者は関係ないと考えてしまいがちなので、広報や周知活動がもっと徹底できるといいのではないかと考えます。

## 1 目的

東京都自立支援協議会の活動の一環として、各区市町村における地域自立支援協議会の活動状況等を把握し、調査結果を資料として供することで、各地域協議会の活動の促進を図るとともに、東京都自立支援協議会の活動とあわせて、都民に広く周知する。

## 2 方針

- (1) 第7期東京都自立支援協議会の最終年度となるため、会長による第7期の総括を加える。
- (2) 令和4年度活動方針をふまえ、交流会やセミナーとの連動性を持たせた設問を追加する。
- (3) 一覧と個票の重複を避け、自由回答など一覧に整理できる事項は、個票には再掲しない。
- (4) 項目立てを整理し、重複部分を削除するとともに、一覧・個票とも見やすくする。
- (5) 地域自立支援協議会の委員名簿に氏名の記載がない場合は、その理由を記載してもらう。
- (6) 地域自立支援協議会の様子がわかるように、引き続き具体的な取組等を記述してもらう。
- (7) 経年変化を追う設問については変更せず、従来通りとする。

## 3 内容

- (1) 地域自立支援協議会の基本情報（名称、設置年月、運営方法、組織図等）
- (2) 地域自立支援協議会の委員（名簿、専門部会の状況、委員構成、当事者委員）
- (3) 地域自立支援協議会の活動状況等
  - ア 地域自立支援協議会での協議事項
  - イ 地域自立支援協議会としての役割
  - ウ 地域自立支援協議会として把握している地域課題
- (4) 相談支援体制の整備状況等（基幹相談支援センター等の所数、地域生活支援拠点等、日中サービス支援型共同生活援助）
- (5) 地域移行・地域生活支援を進めるための社会資源（新規）

## 4 調査対象

都内全区市町村

## 5 基準日

令和5年3月31日

## 6 結果の公表

- (1) 冊子の発行
  - 区市町村障害福祉主管課、都協議会関係者、各道府県政令市障害福祉主管課等に配布
- (2) 東京都心身障害者福祉センターホームページへの掲載
  - ・冊子の掲載内容と同内容のものをホームページにも掲載する。
  - ・各地域自立支援協議会のホームページリンクを一覧にして掲載する。
- (3) 発行時期（掲載時期）

令和5年5月（予定）

## 7 その他

都内全区市町村を対象とした調査票については、資料『「令和4年度版 東京都内の自立支援協議会の動向」調査票』を参照のこと。